

# 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

我が国の経済情勢は、各種政策の効果やワクチン接種の普及とともに消費活動も再開し景気に持ち直しの動きが見られました。内閣府の月例経済報告（令和4年3月）によると、「景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。」とされております。一方で、変異株による感染症の再拡大やウクライナ情勢、長期化する半導体や電子部品の供給制約による生産活動への影響など新たな懸念事項も生じております。

このような中、桶川市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は会員、理事及び職員が一体となって感染防止対策である「新しい生活様式」を実践しながら、就業を通じて地域社会に貢献し、「高齢者の生きがいや居場所づくり」として重要な役割を担って事業運営を行ってまいりました。

令和3年度の契約金額については、3億97万円（前年度比3.9%増）となり、2年ぶりに3億円台を達成しました。そのうち、請負事業では2億5,681万円（前年度比0.9%増）、とりわけ派遣事業では4,416万円（前年度比26%増）となりました。

また、会員数については、コロナ禍の厳しい状況の中、委員会等の積極的な入会希望者説明会のPR活動と県連合の会員拡大キャンペーン効果もあり659人と前年度より約1.2%増加しました。

主な事業実施状況について、以下のとおり報告いたします。

## I 事業概要

### 1 普及啓発活動の推進

多面的に市民へシルバー事業のPR活動を推進するとともに、会員に対して様々な情報を提供し、魅力あるセンターを発信するために次のとおり事業を行いました。

- (1) 機関紙「シルバーおけがわ」を年2回発行し、会員や関係機関にセンターの活動状況を発信しました。

- (2) 事務局だより「シルバーニュース」を年6回発行し、就業情報や実施事業のほか様々な情報を会員へ提供しました。
- (3) パンフレットを作成し、シルバー事業を市民へ啓発するために活用しました。また、入会希望者説明会や各種事業のポスターを作成し、会員宅や地域の掲示板及び公共施設に掲示して、様々な情報を広く市民に発信することで、会員の加入促進、就業機会の拡大やセンターのPRを推進しました。
- (4) 市の広報紙に会員募集の記事を掲載し、シルバー事業の啓発を図るとともに、会員の加入促進を図りました。
- (5) 「見やすく、親しみやすく」を目指しセンターホームページをリニューアルしました。また随時更新し、迅速な情報発信に努めました。
- (6) センターの社会的役割を果たすために地域貢献活動を行いました。

## 2 会員の増強

市内の60歳以上の市民に対して定期的に入会の機会を提供し、会員の増強を図るために次のとおり事業を行いました。

- (1) 会員の加入促進を図るため、ポイント制度を活用し、会員による「ロコミ運動」を推進しました。
- (2) 入会希望者説明会を毎月2回（平日1回・休日1回）行いました。
- (3) 女性の加入を促進するために、女性を対象とした入会希望者説明会を行いました。
- (4) 入会希望者説明会の周知を広く行うために、市広報やホームページの掲載だけでなく、チラシの配布や自治会、商店等及び公共施設の掲示板へポスターの掲示を行いました。また、県連合の会員拡大キャンペーンにより会員増強を図りました。
- (5) 高齢等により就業が困難になった会員に対しては、特別会員（ゴールド会員）への移行を推奨して退会者抑制に努めました。

## 3 就業機会の確保・拡大

就業機会の確保・拡大を図るため、次のとおり事業を行いました。

- (1) 就業機会創出員により公共機関、事業所及び家庭への積極的な訪問を行いました。
- (2) 高齢者や子育て世代の生活支援を行うため、福祉・家事援助サービス事業を積極的に取り組みました。
- (3) ポイント制度を活用し、会員による身近な就業情報の収集やセンターのPRを推進しました。
- (4) 就業機会の確保・拡大や賛助会員への加入の協力を依頼するため、理事等による企業訪問を実施しました。

- (5) 発注者のニーズや就業状況について把握するため、「お客様満足度調査」を実施しました。
- (6) 発注者や会員の多様なニーズに対応するため、公益財団法人いきいき埼玉の事業実施事務所として一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）を行いました。
- (7) 桶川市から指定管理者として受けている駐輪場、農業センター、勤労福祉会館及び都市公園について、利用者サービス向上と適正な管理運営に努めました。
- (8) 新規独自事業として「おさらい教室」と「シルバー農園事業」をスタートいたしました。

#### 4 安全就業の推進

事故「ゼロ」を目標に安全就業基本計画に基づき、安全就業を強力に推進するために、次のとおり事業を行いました。

- (1) 安全就業推進委員会を開催し、会員の安全や健康に関する事業の計画や検討を行いました。
- (2) 安全就業の徹底を図るために、安全就業推進員が作業現場を適宜巡回するほか、安全就業推進委員によるパトロールを毎月行いました。
- (3) 安全就業の徹底を図るため研修会を開催しました。また、連続無事故日数を掲示し会員の事故防止に対する自覚と安全意識の向上を図りました。
- (4) 事故を起こした当事者から事故報告書を速やかに提出してもらい、その内容を検証し、対策を講じて事故の再発防止に努めました。
- (5) 「シルバーニュース」や「セーフティニュース」を通じて会員の安全意識を高めるよう様々な情報を発信しました。

#### 5 適正就業の推進

法令等の遵守と、会員就業基準の適用を推進し公平な就業機会の提供に努め、適正就業の推進を図るために、次のとおり事業を行いました。

- (1) 法令を遵守し不適正な就業にならないよう就業内容や就業形態の自主点検を行い、請負・委任に馴染まない仕事については労働者派遣事業で対応するように努めました。
- (2) 就業基準に基づく就業期限を迎えた就業者の交代や「臨時的・短期的」

な就業の徹底を図るためのワークシェアリングを推進し、就業機会の公平化・均等化に努めました。

- (3) 未就業者の状況や希望を把握するためにアンケート調査を行いました。
- (4) 「就業相談会」を毎月開催し、未就業会員の就業促進に努めました。また、「女性会員就業相談」も行いました。
- (5) センター玄関入口に「就業情報掲示板」を設置し、いつでも気軽に就業情報を見られ申込みができるようにしました。

## 6 運営体制の充実・強化

運営体制の充実・強化のために、健全な財政運営及び充実した組織運営に努めました。また、市や関係諸団体との連携を図りながら次のとおり事業を行いました。さらに、「チェンジ・ナウ」のスローガンの下、センターが抱える様々な問題・課題に対して成果をあげるように、自主的・主体的に取り組みました。

- (1) 会員、理事及び職員が一体となって、組織の運営強化を図るとともに、事務処理の効率化や実施事業の内容を精査し、より効果的な事業運営に努めました。
- (2) センターの事業効率を上げるため5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の様々な取組みを開始しました。
- (3) 会員ポイント制度を活用し、センター事業への参加促進や目的意識の向上を図りました。
- (4) 理事や委員が賛助会員加入を増やす取組みを積極的に行った結果、センターを支える賛助会員として56社の事業所のご協力をいただきました。
- (5) センターの事業を円滑に推進するため、桶川市や県シルバー人材センター連合、その他関係機関や団体と連携を深め、事業の理解や協力を求めました。
- (6) 発注者の利便性及び事務の効率化のため、「コンビニ収納システム」を導入しました。
- (7) 会員の声をセンター事業に反映させるため「目安箱」を設置しました。